

<今日の説教のポイント ルカによる福音書 23 章 32～43 節>

1 [] 付きの 34 節。だからこそ大事な主イエスの言葉。

〔そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお救してください。自分が何をしているのか知らないのです。】(34)。この部分にはカッコが付いていません。有力な写本に欠けているものがあるからです。では、重要ではないのでしょうか。そうとも言えません。この箇所全体で示されている、十字架に付けられたイエス様に対して人々が行った言動が何を意味しているかを一言で言い表しているのがこの言葉だからです。聖書に登場する人々は私たちを代表しています。彼らがすることは私たちがすることなのです。「自分が何をしているのか知らない」、それは私たち自身のことを指しているのです。後の時代の人がこの箇所を読んで、このことに気づいて付加したのかもしれませんが、でも、聖書が何を言おうとしているのかを深く読み取れるために、神様が加えて下さった大事な付加と言えるかもしれませんね。カッコ付きで聖書に加えられている理由です。

2 3 回出て来る「自分を救え」。その言葉が意味する深い意味あり！

3 度も「自分を救うがよい(救ってみろ)」(35,37,39)という言葉が出て来ます。言うまでもなく、イエス様にこう叫ぶ人たちは、「お前が『**神からのメシア**』(36)だと言うなら、今の十字架の苦しみから自分を救ってみろ。自分すら、救えないじゃないか」、と言っているのです。その通りだと思うかもしれませんが、しかし、それは大きな間違いです！ 「救う」の意味を、イエス様やイエス様を送られた父なる神様が考えておられることと全く取り違えているから言える 180 度的外れな言葉なのです。イエス様はもう救われているのです！ 自分ではなく、こう叫ぶ人たちを、です！ 彼らは自分の罪深さに全然気づいていません（自分が何をしているのか知らない）。しかし、一人だけ、気づき出している人がいます。十字架にかけられた囚人の一人です。彼はこう言いました、「我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない」(41)。自分とイエス様の違いに気づいています。イエス様の死が持つ意味、神の子が罪人のために死なれる意味、それによって罪人の罪が赦される道が開かれる意味、そのことに気づき出しているのです！ 神様の破格の大きな救いが到来したことに！